

石川社保協ニュース

2020年9月8日

920-0848 金沢市京町24-14

TEL076-253-1636 F076-253-1459

メール: kaigo@imir.jp

http://www.imir.jp/syahokyo/index.htm

志賀町 子どもの医療費窓口無料化 来春から

今日の午前中の志賀町議会で、町長は「子どもの医療費窓口無料化を来春から実施する」と答弁しました。やりました！子どもの医療費窓口無料化を求めて、日本共産党の町議と住民運動のコラボレーションの成果です。

これまで、中谷町会議員の子どもの医療費窓口無料化を求める質問に、小泉町長は「現物給付にすると医療費が増える」（2019年6月）、「窓口無料化すると子どもの医療費助成制度のありがたさがわからなくなる」と答弁してきました。

しかし今年に入ってから、七尾市が「子どもの医療費の助成制度について、現在の償還払いを2021年度から現物給付に変更する」と公表し、県内で志賀町だけが子どもの医療費助成制度は償還払いとなりました。そうした中で、今日の町長答弁です。やりました！これで石川県全市・町で子どもの医療費窓口無料化が実現します。これで持ち合わせがなくても、子どもが病気になったら財布と相談することなく安心して受診させることが出来ます。

65才以上障がいがある人の医療費の現物給付化も含めて、力を合わせれば、必ず議会や市・町を動かすことができます。次は学校給食無料化、20人学級を実現させたいものです！



金沢市・内灘町・津幡町は子どもの医療費一部負担を廃止を

2008年4月より全ての医療保険で、就学前の子どもの医療費窓口負担が2割負担になりました。石川県社会保障推進協議会は、多くの団体と力をあわせて、石川県に「県単独事業で『乳幼児医療費助成制度』を現物給付にしてください。」と要望してきました。2014年9月県定例議会で「福村議員質疑に対する県知事答弁」に現物給付化を認める答弁を勝ち取り、その後、七尾市、志賀町以外の市・町で子どもの医療費窓口無料化が実現をしました。そして上記の通り、来春の七尾市・志賀町の現物給付化実現で県内全ての市・町で、子どもの医療費窓口無料化が実現をします。

ただ、窓口無料化する中で、金沢市・野々市市・津幡町・内灘町が一部負担（外来で1回500円）が導入されました。野々市市が来春この一部負担を廃止する予定ですので、金沢市・内灘町・津幡町で、この子どもの医療費一部負担廃止を求めることが大変重要になっています。



全市町で65歳以上心身障害者医療費窓口無料化を